

赤門だより

vol.63

特集

赤門整形外科内科 ～副院長就任のご挨拶～



赤門整形外科内科 副院長就任のご挨拶

この度、赤門整形外科内科・副院長を拝命いたしました宮川慶です。2011年より非常勤医師として診療にあたっておりますが、7月1日より常勤医師として勤務しております。どうぞよろしくお願いたします。

私が医師の道へすすむきっかけとなったのはやはり父（宮川進院長）の影響が大きかったと思います。父が仕事を家庭で多く語ることはありませんでしたが、時々こぼれる整形外科医のやりがいや、患者様との心温まる話、職場での楽しそうなやりとりなどを通じて、気が付いたときには医師になることを目指していました。入学した順天堂大学では「仁」の精神を学びました。建学より受け継がれてきた順天堂の信念である学是「仁」。「仁」とは、自分本位に行動するのではなく、常に他人の気持ちを思いやり、理解し、敬う心です。「人は誰かを助け、支えるために生まれ、生きていく」という考え方が、自分の成長にもつながると教えていただき、現在の私の根幹にその「仁」の精神は根付いています。順天堂大学を卒業

し医師となり、内科・外科とローテーションをしながら研修をしていく中で、患者様の「生活の質」に治療の重点を置く整形外科に大きな魅力を感じて整形外科医を志すことに決めました。

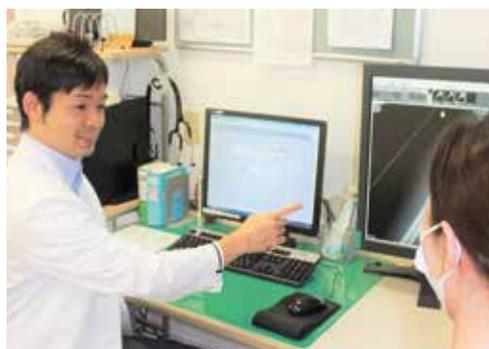
整形外科ローテーション

順天堂医院で研修医としての研修を修了し、2009年に順天堂大学整形外科教室に入局しました。ローテーターとして2010年に千葉市にある千葉中央メディカルセンターへ配属され、5年間千葉での生活を送りました。外傷を中心に、その後の専門となる脊椎領域の勉強も始まりました。広大な千葉県での医療事情と自然の深さに触れることができたことは大きな経験になりました。2015年に順天堂大学江東高齢者医療センターへ配属となりました。「高齢者医療センター」の名の通り、高齢者に特化した病院で認知症専用病棟が整備された病院でした。整形外科医が直接認知症の治療をすることはありませんでしたが、認知症をお持ちの患者様へ整形外科の治療をする機

会は自然と多くなりました。認知能力が低下することで怪我のリスクが増え、痛みがあることで認知症症状が増悪することを知りました。一方で、痛みが改善すると認知機能にも改善が見られ、生活の質が大きく変わることを知り、整形外科医の立場でも認知症患者様の生活の質を改善できることを初めて実感しました。また高齢者の治療を通じて、骨粗鬆症治療の重要性を再認識しました。骨粗鬆症による骨折が患者様の生活を一変させてしまうことに加え、変形性関節症や腰部脊柱管狭窄症といった疾患は骨粗鬆症とは無関係のように考えがちですが、骨粗鬆症の進行によって病状のみならず手術成績



「赤門 one team」
多職種で意見交換しながら診療している。



患者様にわかりやすく治療法を説明するよう心掛けている。

まで悪くしてしまうことを知り、以前にも増して精力的に骨粗鬆症治療に取り組むようになりました。

順天堂医院へ

2019年からは順天堂医院の脊椎脊髄センターの一員として働くことになりました。奥深い脊椎疾患の診療にあたる日々は非常に充実したものでした。体の幹を成す脊柱が身体全体に及ぼす影響は複雑で、改めて診察・診断の重要性を理解しました。また整形外科各領域における最先端の整形外科



赤門を開設当初から見守っているビャクシン(樹齢133年)の前で木村愛医師(実姉)と。

治療を学ぶことができました。

「赤門」

明治21年に初代鈴木勝太郎先生が現在の地に「赤門鈴木医院」を開業して以降、海の香るこの館山の地に赤門は存在してきました。館

山は私にとっては生まれ故郷であり、いつか恩返しをしたいと思っていた存在でした。地域のニーズに合わせた少しずつ形を変えてきた赤門。約35年前、田中耕一先生と宮川準先生が赤門へ来て以降は産科から整形外科へ形を変え、医療法人社団慶勝会として少しずつ変革



宮川慶 略歴

1982年4月29日館山市にて誕生
 2007年 順天堂大学医学部卒
 2007年～順天堂大学病院臨床研修医
 2009年～順天堂大学整形外科教室
 2010年～千葉中央メディカルセンター
 2015年～東京江東高齢者医療センター
 2019年～順天堂医院脊椎脊髄センター

資格

日本整形外科学会 整形外科専門医
 日本整形外科学会 脊椎脊髄病医
 日本脊椎脊髄病学会 脊椎脊髄指導医

専門領域

整形外科一般 脊椎脊髄疾患 骨粗鬆症

「人は誰かを助け、支えるために生まれ、生きていく」
 今でも覚えています。

来年で私も40歳、いよいよ故郷に恩返しをするときがきました。これまで順天堂で培ってきた力で館山の地に恩返しをしたいと思っています。幸いにも、赤門には情熱に溢れた多くのスタッフがいます。私がスタッフを助け、スタッフに私が助けられる「仁」の関係を築いた先に、よりよい医療・介護があると考えて

います。私の趣味はマラソンで、年に数回マラソンのレースに出場します(若潮マラソンは9回完走しています)。レース本番では多くのランナーや沿道の声援に囲まれて走ることができません。一人で走る練習では息が苦しくなるようなペースでも、沢山の人が囲まれて走るレース本番では苦も無く走ることができません。科学では説明のつかない話かもしれませんが、間違いなく人は人へ力を与えることができます。「人は誰かを助け、支えるために生まれ、生きていく」、この「仁」の言葉を胸に、患者様とスタッフの笑顔に溢れた赤門であるように皆さんと一緒に走っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

赤門整形外科内科 ご利用案内 (2021年8月時点)

● 診療時間	月～金 (午前) 9:00～12:00 (午後) 14:00～18:00 土曜日 (午前) 9:00～12:00 (午後) 14:00～17:00
● リハビリテーション	月～金 8:30～19:00 土曜日 8:30～17:00
● 外来受付時間	月～金 8:30～18:00 土曜日 8:30～17:00
● 休診日	日・祝・祭日、年末年始 (12月30日～1月3日)



最新の外来予定はこちらのQRコードからご確認いただけます。



救急告示診療所・労災指定・生活保護法指定・被爆者一般疾病医療機関・公害・難病指定医・身体障害者福祉法指定医・難病指定医療機関

医療法人社団 慶勝会 事業所一覧

赤門整形外科内科

〒294-0034 千葉県館山市沼 1619
TEL. 0470-22-0008 FAX. 0470-23-2836

介護老人保健施設 なのはな館 みさき

〒294-0303 千葉県館山市浜田 110-1
TEL. 0470-29-2700 FAX. 0470-29-2777

サテライト型小規模介護老人保健施設 なのはな館 なぎさ

〒294-0045 千葉県館山市北条 2832
TEL. 0470-24-2700 FAX. 0470-24-2701

なのはな訪問看護ステーション

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-24-3113 FAX. 0470-24-3117

ホームヘルプサービスなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-24-1226 FAX. 0470-24-3117

赤門ケアプランセンター

〒294-0034 千葉県館山市沼 1637-1
TEL. 0470-22-0023 FAX. 0470-23-6160

館山市地域包括支援センターなのはな

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604
TEL. 0470-22-1350 FAX. 0470-22-1351

館山市地域包括支援センターいちご

〒294-0043 千葉県館山市安布里 237-3
TEL. 0470-28-4115 FAX. 0470-28-4116

館山市認知症初期集中支援チームおれんじ

〒294-0034 千葉県館山市沼 1604-4
TEL. 0470-29-5301 FAX. 0470-29-5302

管理部

〒294-0034 千葉県館山市沼 1599 番地 1、1 階
TEL. 0470-25-7300 FAX. 0470-25-7301

赤門保育所

はじめ



私たち医療法人社団 慶勝会は、明治21年(1888年)産婦人科「赤門鈴木医院」の開設を礎として、時代ごとに地域のニーズにお応えすることを使命とし、これまで取り組んでまいりました。これからもこの使命を全うし続けてゆくためにも、絶えず邁進してまいります。

赤門の由来

江戸時代に南部藩(現在の盛岡)の御常宿として通称「南部屋」の名称で呼ばれていた鈴木家は、交易の司処として南部藩主より、門柱に朱塗りを、塀の上には高張り(庇)を許されました。この朱塗りの門すなわち「赤門」が名称の由来として今日まで継承されています。



この一枚



2006年館山市初の国登録有形文化財指定を受けた鈴木家住宅(1924年完成)の食堂。「風がよく通るこの部屋で、幼き頃に夏休みの宿題をやったことを思い出します。宿題の合間には当時飼っていた猫と遊ぶことが楽しみでした。」(宮川副院長談)

医療法人社団 慶勝会広報誌「赤門だより」通巻63号
発行・責任:「赤門だより」編集発行室
千葉県館山市沼1599番地1、1階
TEL.0470-25-7300 FAX.0470-25-7301
ホームページ: <https://www.keishokai.or.jp>
発行日: 2021年8月15日(年3回)
編集・印刷・写真: 管理部 総合企画